

## 平成 25 年度 公益財団法人ホシザキグリーン財団 事業報告

(自：平成 25 年 4 月 1 日 至：平成 26 年 3 月 31 日)

### 【概要】

人と自然の調和した自然環境の保全に資することを目的とし、野生動植物の保護繁殖に関する各事業に取り組んだ。実施した主な事業は次のとおりである。

### I. 事業部門

#### 1. 野生生物研究所事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 1、3、5 号該当事業)

- (1) 調査研究・情報収集発信事業を中心に、宍道湖グリーンパークやふるさと尺の内公園の環境整備の検討のほか、各種の普及啓発活動も含めた財団の幅広い事業を支えるべく運営を行った。
- (2) 調査研究や普及啓発事業に必要な資料(文献・標本等)の収集・保存、それらを活用するための整理など活動基盤を維持する拠点として運営を行った。
- (3) 標本室と図書室の温度や湿度などを管理した。
- (4) 野生生物研究所の実習室を、団体対応や観察会などの室内プログラムの実施場所の一つとして運用した(年間 61 件、のべ 2,388 人)。
- (5) ホシザキ野生生物研究所研究報告会を開催した(10/14、11/5; 島根県民会館)。

#### 2. 宍道湖グリーンパーク事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 2、3 号該当事業)

- (1) 宍道湖グリーンパークおよびビオトープ池の適切な管理を行った。
- (2) 野鳥観察舎や園内に鳥類や昆虫類、植物などの解説を掲示し、フィールド情報を時節にあわせて更新するなどの掲示物の管理を行った。
- (3) 野鳥観察舎において、双眼鏡の貸し出しやキッズコーナー設置などのサービスを継続した。
- (4) 観察舎の一部壁面に剥製等を展示できる常設の展示ケースを設置したほか、屋外カメラのシステムを見直して更新した。
- (5) 新たに開設した「ペンギンミュージアム(約 2,000 点のペンギン・グッズを展示)」の管理を行った。
- (6) 園内の維持管理(除草作業など)は昆虫や野鳥など野生動植物の生息に配慮して実施した。
- (7) カワセミの人工営巣壁について、繁殖継続のためのメンテナンスのほか、ヘビ避けのための壁面を設置した。
- (8) グリーンパーク北側のビオトープ池について機能向上のための環境整備工事を実施した。
- (9) ビオトープ池では、希少な植物であるタコノアシの生息環境を維持管理した。
- (10) 白鳥の採食場として、グリーンパーク周辺農地約 10ha に地権者の協力を得て水を張り、飛来環境の整備を実施した。
- (11) 野鳥観察舎等で年間 43,688 人の利用者があった(開園より 343,138 人)。

#### 3. ふるさと尺の内公園事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 2、3 号該当事業)

- (1) 尺の内公園の適切な管理を行った。
- (2) 園内環境の整備の課題を整理するためのワークショップを実施した(9/20, 28)。

- (3) ワークショップの成果を活かした園内整備の基本設計を実施した。
- (4) 園内の安全性向上のために小川沿いの園路にロープ柵を設置した。
- (5) 試験的に設置したカブトムシやクワガタ類の繁殖場所の経過観察を行った。
- (6) 園内の人工池を活用してオニバスの系統保護のための試験やモニタリング等を実施した。
- (7) 公園に隣接する丘陵地に植栽したクヌギや草地環境を維持するための草刈りを行った。

#### 4. 調査研究事業 (定款第4条 第1項 第1、2号該当事業)

- (1) 職員による自主研究を次の課題で取り組んだ。

##### 〈鳥類研究〉

- ① 鳥類の環境利用特性の研究
- ② マガン・ヒシクイ・コハクチョウの日周行動特性の研究
- ③ 特定鳥類の生息状況調査 (しまねレッドデータブック掲載種、県内繁殖情報不足種、注目種等)
- ④ 鳥類生息情報の集積
- ⑤ 尺の内公園の鳥類調査
- ⑥ グリーンパーク周辺の鳥類定量カウント調査
- ⑦ 白鳥の採食場の利用状況調査
- ⑧ ビオトープ池の鳥類調査
- ⑨ 中海のカワウ (コロニー・ねぐら) 個体数調査

##### 〈昆虫類研究〉

- ① ネクイハムシ亜科の進化生物学的研究
- ② 日本産水生甲虫類の分類学的研究
- ③ 島根県の水生昆虫類の保全生物学的研究
- ④ 山陰の海岸に生息する昆虫類や節足動物に関する研究
- ⑤ 島根県産昆虫目録作成のための基礎研究
- ⑥ グリーンパーク陸生昆虫調査
- ⑦ 尺の内公園の昆虫 (ハチ類) 調査

##### 〈植物研究〉

- ① 島根県産植物の調査ならびに染色体観察
- ② 特定植物種の産地や形態に関する調査と染色体観察
- ③ オニバスの保護増殖に係わる生育調査
- ④ 尺の内公園の植物調査 (植物相、植生図作成)

##### 〈その他〉

- ① 宍道湖・中海の魚類の食性に関する研究

- (2) 委託研究として「島根県内の直翅類の生息状況に関する基礎調査」、「島根県のカニムシ相調査」など12課題を委託して実施した。
- (3) 宍道湖・中海や宍道湖の十四間川河口、雲南市の沢池において環境修復プロジェクトを推進し、各種の取り組みをはじめ生物や環境調査などを行った。
- (4) 6名の客員研究員を委嘱して研究体制を強化した。
- (5) 財団研究報告書や他団体発行誌に43題の研究論文を発表した。
- (6) 学会や研修会等で12題の発表を行った。

## 5. 普及啓発事業（定款第4条 第1項 第4号該当事業）

- (1) 宍道湖グリーンパークで以下の企画を実施した。
  - ・ 定例自然観察会（12回；毎月1回）
  - ・ 宍道湖グリーンパーク来園者30万人達成セレモニー（4/5）
  - ・ 大型連休（ゴールデンウィーク4/27-29、5/3-6）のイベントとして日替わり工作（7日間）
  - ・ 捕虫網の貸し出し（5/26-10/31）
  - ・ 来園先着プレゼント（ポン菓子・マグネットシート）170名（6/8,9）
  - ・ あそびにきてね♪宍道湖グリーンパーク「わくわくバンド演奏会」（6/9）
  - ・ マガンとコハクチョウの初渡来日予想（8/21-9/16、9/4-30）
  - ・ 秋の3連休はグリーンパークであそぼう！（9/21-23）
  - ・ 宍道湖グリーンパークで2014年のカレンダーを作ろう（11/2-4）
  - ・ グリーンパークの園内散策「クイズで自然観察をたのしもう」（11/2-30）
  - ・ お正月の先着プレゼント企画（1/1-5）
  - ・ 宍道湖グリーンパーク来園者33万3,333人目達成セレモニー（1/2）
  - ・ つくってあそぼうカライドサイクル（2/9）
- (2) ふるさと尺の内公園で定例自然観察会を実施した（4回、雨天中止2回）。
- (3) グリーンパークの野鳥観察舎で企画展「食虫植物と植物のうごき」を開催した（7/20-9/2）。
  - ・ ゴビウスの特別展との連携企画としてスタンプラリーを実施し、抽選プレゼント（スプラウト栽培セット）を実施した。
- (4) グリーンパークの野鳥観察舎で企画展「もっと知ろう！出雲の砂丘～菌の長浜は自然の宝庫～」を開催した（12/21-2/3）。
- (5) 野鳥観察舎において時節（梅雨、クリスマス、お正月、世界湿地の日など）にあわせたまとまった展示更新（コーナー展示）を6回実施した。
- (6) ゴビウスのガラスケース内（野鳥、昆虫、植物に関する展示）を季節の変化にあわせて展示更新をした。
- (7) 研究所の実習室において宍道湖学習講座「宍道湖と松江堀川で繁茂し始めた水草について」を開催した（7/6）。
- (8) パークボランティア（17名）を登録し、観察会の企画実施のほか、イベントや園内の作業補助などに関わった。
- (9) パークボランティア研修会を実施した（8/1、1/10,13）。
- (10) グリーンパーク利用者（主に団体）の申込みに応じて観察プログラム等の対応を行った（年間84回、のべ3,275人）。
- (11) 学校や地方公共団体等が主催する観察会や研修会等に講師を派遣した（年間14回）。

## 6. 情報収集発信事業（定款第4条 第1項 第1、4、5号該当事業）

- (1) 文献、標本、写真、映像などの資料収集・整理につとめた。
  - ・ 文献は、購入422冊、寄贈・交換2,455冊、計2,877冊を取得した。
- (2) 「ホシザキグリーン財団研究報告 第17号」を発行した（論文29題、短報12題、資料1題；344頁）。
- (3) 「ホシザキグリーン財団研究報告 特別号」を発行した。
  - ・ 第9号 島根県の海岸性甲虫（98頁）

- ・第10号 鳥取県大山の昆虫調査 II (論文7題; 89頁)
  - ・第11号 島根県に生息する直翅目の目録と生態写真集 (90頁)
- (4) 「平成25年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書」を発行した(論文2題、報告1題; 47頁)。
  - (5) 尺の内公園開園20周年記念として「ふるさと尺の内公園の自然誌」を発行した(272頁)。
  - (6) ニュースレター「HOWP」を発行(30-33号)し、自然情報等の発信に努めた。
  - (7) 宍道湖グリーンパーク自然観察リーフレットを発行した。
    - 春～秋編②: 宍道湖岸や水辺の草花を見つけよう
    - 秋～冬編③: 宍道湖に浮かぶ鳥たち
    - 絶滅危惧種編: 宍道湖周辺に見られる絶滅危惧種の例
  - (8) ホームページで自然情報やイベントなどの情報発信を行った。

## 7. 地方公共団体からの受託事業(定款第4条 第1項 1、3、4号該当事業)

- (1) 島根県立宍道湖自然館管理運営業務(指定管理、主管課: 島根県水産課)
  - 宍道湖自然館ゴビウスの管理運営を行い、普及啓発や調査研究などの各種事業を実施した。
  - 詳細は別資料(宍道湖自然館館報 No. 13)。
- (2) 宍道湖公園利便施設管理業務(指定管理: 出雲市)
  - 宍道湖公園利便施設多目的棟の管理業務を行った。
- (3) 隠岐ジオパーク生物多様性保全推進事業(委託: 島根県自然環境課)
  - 隠岐に生息するカムリウミスズメやウチヤマセンニュウの生息状況調査を実施した。
- (4) しまねレッドデータブック改訂原稿作成等業務(鳥類等)(受託先: 島根県自然環境課)
  - 改訂版しまねレッドデータブックの原稿執筆ならびに改定検討のための現地調査(魚類・甲殻類・両生類)を行った。
- (5) 学んで繋げる環境学習推進事業(委託: 島根県環境政策課)
  - 宍道湖・中海のラムサール条約登録湿地としての普及事業としてゴビウス KODOMO ラムサール探偵団を実施した(計6回)。
- (6) 出雲市自然環境調査研究業務(委託: 出雲市)
  - 出雲市内の水生生物(レッドデータ指定種や外来種)や外来水草の生息調査を行ったほか、小冊子「出雲平野の川や水路の生きものたち」(31頁)を発行した。
- (7) 宍道湖・中海の賢明な利用推進事業(委託: 島根県環境政策課)
  - ラムサール条約リレーシンポジウム「宍道湖でハゼをつってハゼを知ろう」および「子どもたちの食卓にもっと魚を!」を開催し、宍道湖・中海のラムサール条約登録湿地としての普及事業を行った。
- (8) 斐伊川外水辺環境調査業務(委託: 中国地方整備局出雲河川事務所)
  - 斐伊川水系の住民参加による水生生物や水質の調査を行った。
- (9) 鳥類生息調査業務(委託: 島根県森林整備課)
  - 宍道湖・中海など主要な渡来地でカモ科鳥類の個体数調査を実施した(10-3月に毎月1回)。
- (10) 国指定中海鳥獣保護区更新に係る鳥類調査業務(委託: 中国四国地方環境事務所)
  - 既存文献資料調査ならびに湖岸現況の写真撮影、定点カウント調査を行った。

## II. 管理部門

### 1. 監査

平成 25 年 5 月 16 日に、高橋良昌監事、廣瀬方利監事により平成 24 年度一般会計及び業務の監査を受け、会計および業務とも適正と認められた。

### 2. 理事会

平成 25 年 5 月 23 日 第 1 回理事会

- ・平成 24 年度の事業報告を承認
- ・平成 24 年度の決算報告を承認
- ・評議員会開催日時の承認

平成 25 年 5 月 30 日 第 2 回理事会

- ・議長・議事録署名人を承認
- ・平成 24 年度の事業報告を承認
- ・平成 24 年度の決算報告を承認

平成 26 年 3 月 7 日 第 3 回理事会

- ・平成 25 年度収支予算の変更を承認
- ・平成 26 年度事業計画を承認
- ・平成 26 年度収支予算を承認
- ・評議員会開催及び開催日時を承認

平成 26 年 3 月 15 日 第 4 回理事会

- ・議長、議事録書名人を承認
- ・平成 25 年度収支予算の変更を承認
- ・平成 26 年度事業計画を承認
- ・平成 26 年度収支予算を承認
- ・ホシザキ電機(株)第 68 期株主総会議案を承認

### 3. 評議員会

平成 25 年 5 月 7 日 第 1 回評議員会

- ・評議員の補充選任を承認

平成 25 年 5 月 30 日 第 2 回評議員会

- ・議長・議事録署名人を承認
- ・平成 24 年度の事業報告を承認
- ・平成 24 年度の決算報告を承認

平成 25 年 9 月 5 日 第 3 回評議員会

- ・監事の補充選任を承認

平成 26 年 3 月 15 日 第 4 回評議員会

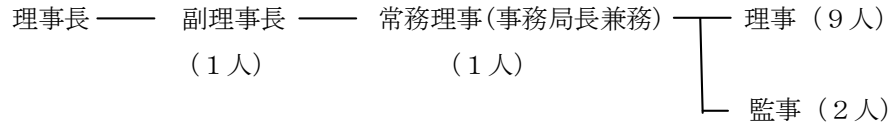
- ・議長、議事録書名人を承認
- ・平成 25 年度収支予算の変更を承認
- ・平成 26 年度事業計画を承認
- ・平成 26 年度収支予算を承認
- ・ホシザキ電機(株)第 68 期株主総会議案を承認

【組織】

理事長以下理事 12 名、監事 2 名、評議員 9 名、職員 33 名で管理運営にあたった。

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

(1) 役員



(2) 評議員

評議員 (9 人)

(3) 職員

